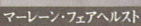


开形

1111



MIURART VILLAGE
MIURART

今日の 人形の 造形 芸術

人形には不思議な存在感が具わっています。愛らしくて優美、しかし、時として不安を覚えさせる一面がそこにはあります。人は、自らを模したその姿かたち、生をめぐるさまざまな想いを託してきました。想いが強く、そして色濃く映るほどに、人形の表情は生き生きとし、同時に生々しさを増すのかもしれない。今日では、玩具としての領域をはるかに超え、力強い造形感を根拠とする人形制作がみられるようになりました。

本展第1部では、この領域における近代化を推し進めた竹久夢二や平田郷陽、堀柳女らの今なお瑞々しい感性をご紹介するとともに、シュルレアリスト、ハンス・ベルメールが写真に刻みつけた人形への鋭いまなざしを検証します。

そして第2部では、人間の心の深層を辿りながら、そこから浮かび上がる想いの数々を、人形というひとつのかたちへと結実させている四谷シモンや林駒夫、ドイツのアクセル・ルーカスらの作品を並べ、人形芸術の可能性と魅力とを探ります。25名の作家による約100点。

■出品作家「第1部」鹿児島寿蔵／川上南甫／川崎フツベ／久保佐四郎／竹久夢二／野口光彦／平田郷陽／ハンス・ベルメール／堀柳女
「第2部」岩瀬なほみ／シルヴィア・ヴァンケ／大島和代／ヘニー・コフリー／芹川英子／友永詔三／浜いさを／林駒夫／イジー・バreshu／マレーン・フェアヘルスト／ウヴェ・ホイケンフル／ユルゲン・ペベル／前田金彌／結城美栄子／吉田良／四谷シモン／アクセル・ルーカス



鹿児島寿蔵「大森みやげ」
1958年／東京国立近代美術館蔵



平田郷陽「長閑」
1958年／東京国立近代美術館蔵



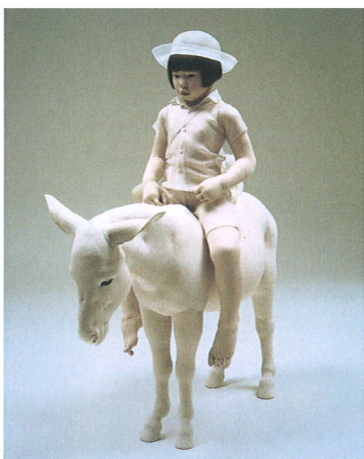
堀柳女「遊」
1959年／東京国立近代美術館蔵



竹久夢二「椅子に座る男」
昭和初期



四谷シモン「機械仕掛けの少年2」
1984年／徳島県立近代美術館蔵
撮影／篠山紀信



大島和代「2000年への旅」
1996-99年／創作人形館ミドル蔵



結城美栄子「Tomorrow」
1988年／岐阜県現代陶芸美術館蔵
撮影／斎城卓



イジー・バreshu「カテリーナ」
2001年
撮影／野本祐司

ギャラリートーク

日時：2003年8月19日(火) 10:00～11:00

場所：ミウラート・ヴィレッジ

講師：結城美栄子(出品作家)＋今井陽子(東京国立近代美術館研究員)

●参加ご希望の方は、事前にお申し込み下さい。

●ご参加には、入場券が必要です。

次・回・予・告

詩人たちの絵展

日時：2003年10月8日(水)～11月16日(日)

■入場料 一般 800円(700円)

高大生 600円(500円)

小中生 400円(300円)

未就学児 無料

()内は前売り、いずれも消費税込み

■巡回 岐阜市歴史博物館

2003年10月10日～11月24日

MIURART VILLAGE
MIURART

ミウラート・ヴィレッジ(三浦美術館)

〒799-2651 愛媛県松山市堀江町1165-1

TEL 089-978-6838・FAX 089-978-0323

http://www.miuraz.co.jp/miurart



駐車場：30台 臨時駐車場(三浦工業(株)福角駐車場)あり
場所：◆ JR松山駅より市内電車にて松山市駅へ
伊予バス 北条行き「内宮(ス停)」下車徒歩約10分
◆ 松山空港より車で約30分